

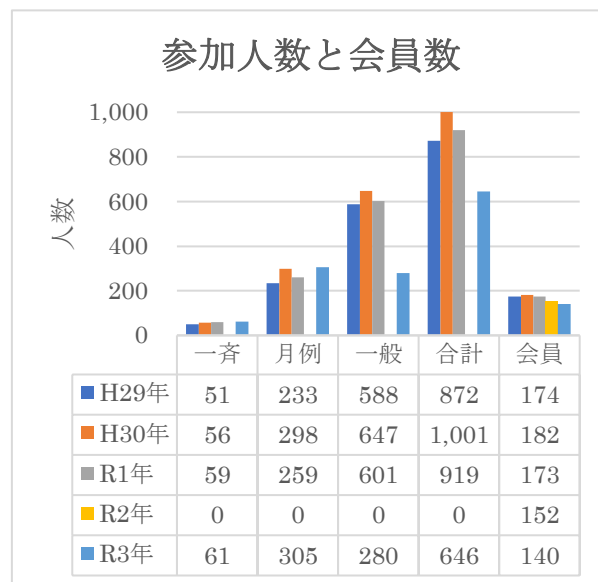
会報第29号発刊に寄せて

会長 S.N.



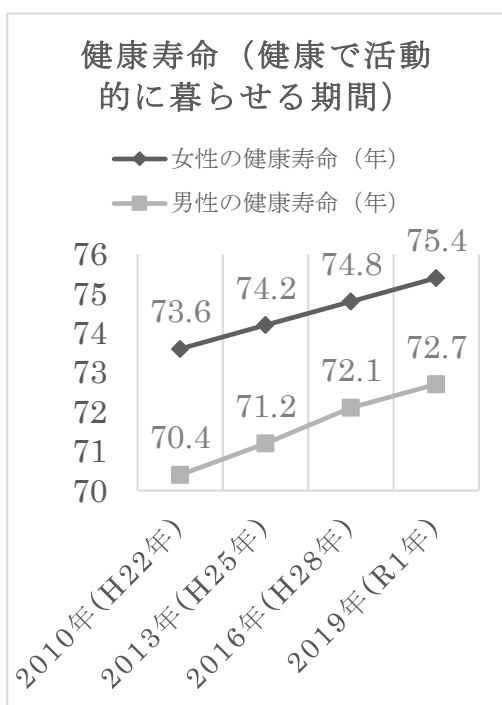
新津ハイキングクラブ活動の集約である「2022年（会報第29号）山行記録」を皆さんのお手元にお届けできることを喜びたいと思います。昨年（令和2年）はCOVID-19により活動は全て中止となりました。今年（令和3年）コロナ感染せずに終えることが出来たことは役員ならびに会員の皆さんに感謝いたします。

今年の参加者数は図のように646名（R4年/1/10現在）ととても少なくなりました。一般山行参加記録2ページでは、参加申込が少人数での中止が多く見受けられます。分析してみると、①コロナ禍での感染警戒と、②秋の「にいがた県民割引キャンペーン」によるものと考えられます。これからもクラブ（設立1996年3月24日）の名に恥じないような活動をしていける環境と次のステップ作りを幹事会で協議を重ねてまいります。



これからもCOVID-19の大小の波はあることでしょう。クラブでは通常活動できるまで数年間は感染症と共存した生活で活動をしていかなければなりません。乗り切りましょう！

みなさん！！ NHCを共に創って参りましょう。



日本の健康寿命は最新データでは年々伸びています。今年のクラブの健康寿命超え者は59名（R4年/1/10現在）と活動的な人が増えました。クラブの3年前との比較では、

	会員数	平均年齢	健康寿命超え者
2018年(H30年)	182名	70歳	50名(27%)
2021年(R3年)	140名	72歳	59名(42%)

健康寿命を超えた人の比率が上がり、それに伴いクラブはますます地域コミュニティの重要な役割を担っています。山に登りながら相互の交流が行われ、また健康を維持し日常生活に活力を与えているクラブとなっています。また、体力維持のため、月2回の月例参加、菩提寺山など宝の里山でのトレーニングをして余力ある登山をしたいものです。